

## 環境保全設計コースの学修到達目標

1. 環境問題を、自然科学の専門的見地から理解している。
2. 持続可能な自然環境メカニズムを修復・保全・設計するための学術的・政策的知識を有している。
3. 自然科学のみならず、社会科学に関する専門的知識を修得することにより、環境問題を多角的視点からとらえることができる。
4. 環境問題に関わる地球科学、環境技術、生物多様性保全、生体影響について専門的手法を身につけ、収集した資料を適切に分析し、それを的確に表現することができる。
5. 環境保全設計に関する専門的知識を身につけ、主体性をもって他者と協働できるコミュニケーション能力を身につけている。

## 環境保全設計コースのカリキュラム・ポリシー

長崎大学のカリキュラム・ポリシーに沿って、環境科学部生が体系的かつ主体的に学修できるように教育課程を編成し、これに従って教育を行います。

1. 入門科目の共通科目で、地球環境及び地域環境、フィールド調査・観測に関する基礎的知識を学びます。  
学修の到達度は、主にレポート及び筆記試験により評価します
2. 環境保全設計コース基礎科目で、自然科学の基礎的知識、そしてそれらを環境問題へ応用するための基本的知識と技術について、講義、実験、演習により学びます。  
学修の到達度は、主にレポート、筆記試験、実験成果、及びプレゼンテーションを通じて評価します。
3. 環境保全設計コース専門科目で、地球科学、環境技術、生物多様性保全、生体影響に関する広範な専門的知識を学びます。また、キャリア形成に必要な実践的知識、国際・地域において活用できるコミュニケーション能力を実践的に学びます。さらに、コース横断的に環境政策コースの専門的知識も学びます。  
学修の到達度は、主にレポート、筆記試験、プレゼンテーション、及びディスカッションにより評価します。
4. 卒業研究において、それまでの学びを活かし、専門性・学術性の高い知識と技能を学びます。  
学修の到達度は、主に卒業論文及びプレゼンテーションを通じて評価します。

# 環境科学部 環境保全設計コース

## 一年次 ～入門科目～

**共通科目 (選択必修)**

自然環境保全学*	環境経済学 I *
環境計測学	環境法 I *
環境基礎科学A	環境倫理学
環境基礎科学B	環境社会学 I

**共通科目 (必修)**

Introduction to Environmental Science	大気環境概論
環境情報処理**	水環境概論
環境フィールド調査論**	環境フィールド演習 I
地域環境概論***	環境フィールド演習 II

**地域・国際交流  
キャリア形成科目  
(選択)**

環境科学特別講義 A, B	環境科学特別講義 C***	インターンシップ	環境キャリア概論
地域環境実習 A~E***			地域環境実践***
国際環境実習 A~D		社会調査演習 A**	社会調査演習 B**

## 二年次 ～コース基礎～

**専門基礎科目 (必修)**

- 環境数学
- 基礎物理学
- 地球科学
- 基礎化学
- 環境化学
- 環境生物学 I
- 環境生物学 II

**基礎実験 (必修)**

- 基礎科学実験A
- 基礎科学実験B

**専門科目 (選択)**

- 水環境科学
- 環境気象学
- 分析化学
- 環境生物工学
- 環境分子生物学
- 進化生態学

<教職課程科目(理科)>  
生物学概論, 地学概論 他

**専門科目 (選択)**

実践英語	廃棄物工学	地震・火山学	エネルギー資源学
環境統計学 I **	環境植物学	環境地下水学	大気化学
環境統計学 II **	物質循環環境科学	土壌科学	グリーンケミストリー*
理系レポート・論文の書き方	保全生態学*	環境毒性学	動物機能学
環境英語 コミュニケーション論	環境安全学	保全生物学*	

コース横断科目(環境政策コース基礎・専門科目36科目)

**応用実験 (必修)**

- 環境科学実験A
- 環境科学実験B

**研究室演習 (選択必修)**

- 地球環境演習 A・B
- 生物多様性演習 A・B
- 環境技術演習 A・B
- 生体影響演習 A・B

## 四年次

## 環境科学特別研究

凡例・備考  
実習科目

必修科目群  
必修科目

選択科目群  
選択科目

\*: 環境再生医指定科目 (環境政策コース基礎・専門科目にも指定科目あり)  
 \*\*: 社会調査士指定科目 (環境政策コース基礎・専門科目にも指定科目あり)  
 \*\*\*: レジリエントな地域社会創生リーダー養成プログラム